

知事コメント

令和4年1月2日(日)

県民の皆様、あけましておめでとうございます。新春のお喜びを申し上げます。一方で、新年早々コロナウイルスに関するコメントを発せざるを得ない状況をお伝えしなければなりません。

県内では、新型コロナが急激に感染拡大しており、昨日、人口10万人あたり直近1週間の新規陽性者数が県全体で15人を超え、県内全域に注意報を発出したしました。また、特に陽性者数が多く見られる地域として、25人を超えている北部保健所管内の町村と沖縄市、うるま市に注意報を出しており、さらに本日、中部保健所管内町村も追加いたします。

感染が広がっている要因としては、基地関係者を中心に確認されていたオミクロン株が市中感染でも確認されており、デルタ株をしのぐ勢いで急速に置き換わりが進んでいることが挙げられます。

本日までに65名のオミクロン株陽性者、90名の疑い事例が確認されており、調査により特定された濃厚接触者は234名にもものぼります。

県としましては、先月17日に県内1例目が確認され、早期封じ込めのため、翌18日には基地従業員を対象とした無料PCR検査を広範に実施するとともに、25日からは県民を対象とした検査無料化事業を開始し、多くの県民の皆様を受検いただいているところです。

在沖米軍基地につきましては、昨年12月初旬、部隊異動により米本国から渡航前PCR検査を受けずに沖縄の米軍基地に来た部隊から感染が拡がり、12月31日に98名、昨日(1月1日)は235名の陽性者が確認され、両日の検査に対する陽性率が21.6%に達しております。また、本日2日にも新たな陽性者が70名という情報提供を受けました。

我々は先月のキャンプ・ハンセンにおける陽性者の急増以降、四軍調整官だけでなく、日米両政府に対し、県民が抱える不安や危機感を伝え、感染症が収束するまでの異動停止や水際対策の徹底、キャンプ・ハンセンの全ての軍人等へのPCR検査の実施、キャンプ・ハンセン基地外への外出禁止、全ての在沖米軍基地での健康保護体制レベルの引き上げ、基地外マスク着用を徹底する等の行動指針の遵守、基地内でのマスク着用の推奨等を、繰り返し、繰り返し、強く求めてまいりました。昨日も、知事公室長から渉外官を通じて四軍調整官に対し、今般の急激な感染拡大と、米軍の対応について強く抗議したところです。ここ数日、米軍陽性者が再び急増した

ことは、米軍における感染症拡大防止対策と管理体制の不十分さを示すものと言わざるを得ず、激しい怒りを覚えます

また、98名、235名、70名の所属基地の内訳、陽性者やその濃厚接触者の療養状況についても情報提供がなされないことに至っては、これ以上の感染拡大を少しでも食い止めようとする県の危機意識が米軍において共有できていないだけでなく、県内のオミクロン株感染拡大が米軍由来のものであるという意識が欠如していると言わざるを得ません。

この図をご覧ください。昨年から感染が続いているオミクロン株のリンク図を国立感染症研究所の協力を得て作成したものです。

ゲノム解析により、キャンプハンセン関係者においては青とピンクの2系統のゲノムを持ったオミクロンのウイルスが確認され、それぞれ拡大しました。

その後、感染が確認された嘉手納基地の従業員には青い系統が飛び火しています。

さらにその後、県内では感染源不明、すなわちオミクロン株の市中感染例が見られていますが、ゲノム解析の結果、青い系統のウイルスに感染している人が複数確認されています。

このリンク図から、オミクロン株の感染がキャンプハンセンから嘉手納基地へ、そして市中感染へと広がっていることが推測されます。

しかし、米軍では現在でも多くの感染者が連日確認されている状況であり、県内の感染拡大を抑えるためには米軍における感染を止めること、更に県民との接触を避けることが重要であると考えております。

日米両政府におかれましては、この問題を単に米軍の感染症対策の不備として矮小化するのではなく、米軍に特権的な地位を与え、また、十分な感染予防対策に関する情報の共有もままならない等の状況を作り出している、日米地位協定がもたらす構造的な問題であるという強い危機意識を持っていただきたく思います。その上で、引き続きになりますが、在沖米軍基地における新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すよう、強く強くお願いを申し上げます。

未だ不明な点も多いオミクロン株に対し、県としましては、早期封じ込めを図るため、接触者PCR検査センターの増設や無料検査の実施など検査体制を大幅に拡充するとともに、注意喚起を呼びかけていたところですが、この年末年始を通して、オミクロン株が市中に流出し、いわば感染の種が市中に蒔かれた状況にあると認識しております。

オミクロン株の影響により、未だかつてないスピードで拡大する可能性もあります。このまま増加した場合には、警戒レベルを引き上げ、人の移動や経済活動の制限など、強い措置を要請することを検討せざるを得ません。

しかしながら、今、ここで県民一丸となって感染防止対策を徹底することができれば、拡大のスピードを抑えることが可能です。

今日、これから正月の挨拶回りや新年会、初詣などへのお出かけを予定している方、あるいはその真っ最中の方もいらっしゃると思います。

是非、県の注意報を軽く考えないでいただきたいと思います。

注意報では、夜間の会食は控えることや、会食は4人以下2時間以内とし、混雑している場所への外出を控えるようお願いしているところです。

正月の挨拶回りでも、短時間、少人数、マスク会食とするなどの工夫をし、初詣についても、混雑する三が日や時間帯を避けるなど警戒感を高めていただきたいと思います。

そして、今週末には成人式が各地で開催される見込みです。成人式の主催者におかれましては、PCR検査の受検を勧めること、あるいは臨時の検査ブースを設けるなど抗原検査キットを活用した検査の当日での実施や感染対策の徹底のほか、体調不良者は参加を厳に控えることなどを呼びかけていただきますようお願いします。感染の急拡大が見られる地域については、式典やその前後の懇親会の延期や中止についてもご検討くださいますようお願いいたします。

県としては、希望する市町村に対し、抗原検査キットの配布を準備しています。成人式の関係者は是非、各市町村の窓口にご相談ください。

この年末年始に沖縄県に帰省された方や旅行で来訪された方も多いと思われませんが、県内における感染状況に鑑み、ご自宅に戻られた後にも、健康管理には十分ご留意いただき、体調不良の際には検査の受検を検討していただきますようお願いします。

全ての県民の皆様に重ねてお願い申し上げます。体調管理や基本的な感染防止対策を引き続き実践していただきたいと思います。不安がある方は是非無料検査をご利用下さい。一緒に頑張ってください。